

## 屋久島生態系モニタリング

湿原基礎調査 (花之江河・小花之江河)  
平成13年度調査

1 入り込み者数  
世界自然遺産に登録された翌年から急増している。登山届からみると、平成4年と11年では35~40倍となっている。

2 泥炭生成  
我が国で最も南にある高層湿原(低温多湿の状態)で、なかつ地下水位が高いと枯れた植物は酸素が足りずに完全に分解されずに積み重なった泥炭上に発生する(湿原)である。泥炭はミズゴケやイグサ等の湿原植物の物が堆積したもので黒褐色を呈している。花之江河における泥炭層の厚さは、0.5~2.0mであり、C<sup>14</sup>年代測定によれば、最下層の泥炭が生成されたのは2600~2800年前である。約6300年前の鬼界カルデラの噴火による幸屋火砕流の堆積と言われており、2600~2800年前頃から屋久島の降水量が増え水の溜まりやすい地形に繁茂したミズゴケの堆積し始め湿原が形成されたようである。

国有林は、木材生産重視から公益的機能重視へと方向転換を図ったところであり、国有林の中で活動しているガイドの方々と情報交換していくことは、保全対策に関する方針の理解と協力を得るうえで重要と考へ会議を企画しました。

今回は、何かを決めようとするものではなく、それぞれが日頃感じていることを出し合い、今後の対応策を築き上げることを目的としました。

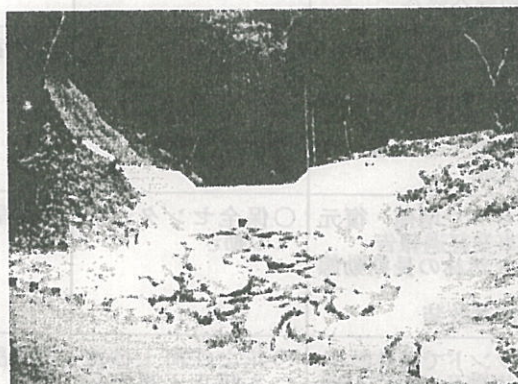
参加者の中からは、国有林に対して意見を述べる場は初めてでありもつとこういう場を設けて貰いたい。国有林は山の管理者として、今の自然を損なわないよう、利用可能な中で管理していくのが望ましい等活発な意見や、様々な情報などが数多く寄せられ有意義な情報交換の場となりました。今後とも会合を重ね、お互いの理解と協力を体制作りにつめて参りたいと考えています。

## 山岳ガイド関係者と初会合

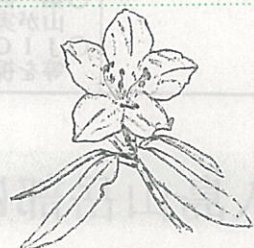
三月十四日、当署会議室において、自然遺産地域を中心とする山岳などで活動しているガイド等関係者と情報意見交換会を実施しました。

## 木材を利用した 治山ダム

当署治山工事で木材の利用促進及び景観に配慮した治山ダムを、石塚国有林内に施工しました。



## 屋久島の植物



ヒカゲツツジ  
つつじ科

関東以西に分布し、屋久島を分布の南限とする常緑小低木。屋久島では、標高一、二〇〇m付近の林道脇の岩上に生育しているものが人目に付きやすい。直径3cmくらいの淡黄色の花が、枝先に数個ずつ横向きに咲く。

この治山ダムは、ダム完成後も表面に型枠として利用した木材を残置させる工法で、長所として

- 一 間伐材等の活用により木材需要を促す。
- 二 コンクリートの表面を木材で覆うことにより周囲の景観とマッチする。
- 三 将来的には木材にコケや草本類が付着し工作物

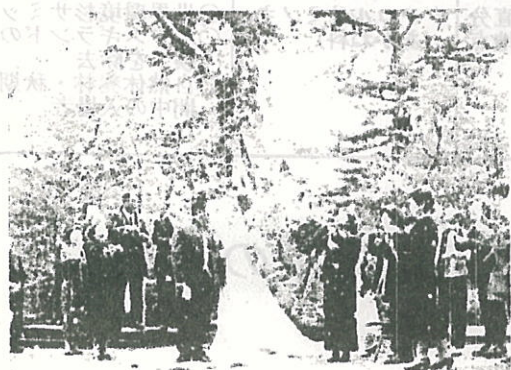
等があります。今回の木材残置は土石流等に対する衝撃を考慮し下流側表面のみを行いました。今後は創意工夫しながら全般的に包み込む工法等治山工事で尚一層の木材の利用促進を行いたいと考えています。

## 紀元杉前でシビルウェディング

三月二十二日、新郎の故郷である屋久島、新婦の父の想い出がたくさん詰まった屋久島で、これからの「ふたりの人生を紀元杉に誓いたい」という思いから、鹿児島県在住の二人がシビルウェディング(人前結婚式)を挙げました。

紀元杉前は駐車場スペースが狭いため、観光客の少ない時間帯を選んで挙式を行いました。それでも当日は連休初日

のため多くの観光客が訪れ、式前にウェディング姿の新婦



## 保全センター 人の動き

☆四月一日付け

新 所長 井上 信義  
(九州森林管理局計画課より)

旧 所長 山部 正富  
(九州森林管理局計画課へ)

# 平成14年「洋上アルプス」掲載記事一覧

No.	大記事	小記事	お知らせ	屋久島生態系モニタリング	屋久島の植物	裏面
82	○敬宮愛子さまの御誕生を祝しヤクスギを植樹	○野口健のLOVE THE EARTH ○自然休養林月間最多入場者記録更新(ヤクスギランド)	○通行規制発令・交通安全に注意	西部海岸地域の森林利用の現況②	サツマイナモリ(あかね科)	○林外雨PH ○屋久島国有林内での主要研究調査
83	○ヤクタネゴヨウ増殖・復元緊急対策事業(経過報告) ☆穂木採取行われる	○愛子岳登山道整備進行中 ○植樹に参加しませんか	○ヤクタネゴヨウ植樹参加申し込み	西部海岸地域の森林利用の現況③	タイミンタチバナ(やぶこうじ科)	○平成13年度地点別雨量一覧表 ○標高別雨量比較表
84	○屋久島山岳部利用対策協議会開催	○美しい松林を取り戻そう ○第四回調査・研究の連絡会議を開催 ○屋久島環境学習ネットワーク会議		西部海岸地域の森林利用の現況④	ヒメヒサカキ(つばき科)	○ヤクタネゴヨウ植樹に参加しませんか ○ゴールデンウィーク中の縄文杉荒川登山口一般車両乗り入れ
85	○縄文杉樹勢及び植生回復措置事業 ☆縄文杉の周辺の植生を元の姿に	○花之江河土砂流入工事 ○ヤクタネゴヨウ植樹 ○GWの荒川登山口へ車の乗り入れ規制 ○ヤクスギランド観察路修理	○保全センター人の動き	入り込みによる問題点①	ヒメアリドウシ(あかね科)	○平成13年度「洋上アルプス」掲載記事一覧
86	○屋久島の国立公園の全般的な見直し	○第五期保安林整備計画 ○平成十四年度第一回山岳利用対策協議会	○ご迷惑をお掛けしました	ヤクタネゴヨウの保全①	キバナノコマノツメ(すみれ科)	○屋久島森林環境保全センター平成14年度業務予定
87	○絶滅危惧種ヤクタネゴヨウを植樹	○平成一三年度協力金の公表について ○平成一三年度屋久島生態系モニタリング調査報告書		ヤクタネゴヨウの保全②	ギンリョウソウ(いちやくそう科)	○屋久島山岳部利用対策協議会 ゴールデンウィーク期間中の縄文杉周辺パトロール
88	○屋久島自然休養林荒川地区保護管理協議会総会	○ヤクスギランド内危険木除去！ ○「愛子まつり」に向け、愛子岳登山道を整備	○保全センター「年報」が完成	国割岳西斜面の植生の垂直分布 0m地点	ヤクシマショウマ(ゆきのした科)	○自然休養林の入場者数の推移
89	○ヤクタネゴヨウを絶滅から救おう	○花之江河の保全対策事業設計調査を実施 ○愛子岳登山道整備を実施しました ○屋久島自然休養林白谷地区保護管理協議会総会		国割岳西斜面の植生の垂直分布 標高200m地点	ヤクシマヒロハノテンナンショウ(さといも科)	○屋久島行程表
90	○鹿児島大学の企業体験研修生を受け入れ	○森林計画学会夏期セミナーが開催される ○夏休み期間中の山岳パトロールを実施 ○八月入場者数10,190人白谷雲水峡		国割岳西斜面の植生の垂直分布 標高400m地点	ヤンバルセンニンソウ(きんぼうげ科)	○夏休み期間中の自然休養林の利用状況
91	○平成一四年度生態系モニタリング調査	○ヤクタネゴヨウ増殖・復元緊急対策事業経過報告 ○ヤクスギ天然林の長期動態解析 ○センター庁舎改装	○保全センター人の動き	国割岳西斜面の植生の垂直分布 標高600m地点	ヤクシマツルリンドウ(りんどう科)	○調査報告書リスト(4-1)
92	○ヤクタネゴヨウ増殖・復元緊急対策事業(中間報告)	○ヤクスギランドで森林教室 ○縄文杉の樹勢及び植生回復状況	○花之江河土砂流入防止工事を行います	国割岳西斜面の植生の垂直分布 標高800m地点	アマクサギ(くまつぶら科)	○調査報告書リスト(4-2)
93	○屋久島自然休養林保護管理協議会の統一総会を開催	○第三回屋久島山岳部利用対策協議会 ○第一回愛子まつり愛子岳登山が実施されました ○JICA研修生白谷雲水峡等を視察		国割岳西斜面の植生の垂直分布 標高1,000m地点	タシロルリミノキ(あかね科)	○世界環境杉サミット ○ヤクスギランドの危険木を除去 ○自然休養林・秋期期間中の入場者

## 屋久島山岳部におけるGW期間中の自動車の適正化対策の実施

期間：平成15年5月2日(金)～平成15年5月4日(日)

時間：午前4時30分～8時までの3時間30分

区間：町道荒川線入口(荒川三叉路)～荒川登山口まで

「屋久島山岳部利用対策協議会」では、縄文杉登山者の増加により、荒川登山口駐車場や車道終点付近での混雑が著しい状況となっているため、12年度から渋滞緩和や環境保全などの観点から一般車両の乗り入れ対策を実施しています。

\*\*\* ご協力をお願いします\*\*\*

